

はこだてシルバーだより



創刊100号記念!

平成26年9月号



秋号 No. 100

● “手”が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ!

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。
豊富な経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします!

函館市若松町33番6号 (函館市総合福祉センター 2階)
電話 (0138) 26-3555
FAX (0138) 23-7531
E-mail : hakosc@sjc.ne.jp

登録会員数 8月31日現在 男674人 女294人 計968人

「第二回理事会」報告
七月三十日開催

★報告事項

- (1) 正会員及び賛助会員の入会について
 - (2) 事業運営状況報告について
 - (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
 - (4) 安全就業推進大会及び清掃奉仕活動について
 - (5) 旅行会について
 - (6) 統計資料について
- ★協議事項
- (1) 函館市への要望について
 - (2) 平成二十七年(2015年)度基準単価について

以上報告事項六件と協議事項二件を審議し、承認されました。

◎主な内容は次のとおりです。

- ・六月末現在の正会員は九百五十三名、賛助会員は三十九団体となっております。
- ・事業運営状況の中で、最近自動車運転業務で事故が多発していることから研修会を開催し事故防止に努めました。
- ・四半期の事業実績については、市体育館の工事に伴う市民会館委託業務の減、剪定作業会員の

不足等で昨年と比較し九十九・二%と依然厳しい状況となっております。

・清掃奉仕活動は暑さの中、百四十六名の参加をいただきました。安全就業推進大会は、百六十六名が参加され、会員の事例発表、交通事故の発生事例などを基に西警察署宿村交通課長の講演の後、ヨガインストラクターの指導を受け疲れた体をほぐし、最後に今年度の安全標語を全員で唱和し終了しました。

・旅行会は、会員厚生部会で検討の結果、十月六・七日の二日間、青森県野辺地町・馬門温泉に決定しました。多数の参加をお願いします。

・函館市への要望は、昨年度も実施しておりますが全シ協と統一行動で補助金と公共事業の確保について要請を行います。

・基準単価については、昨年度は端数整理と機械除草での最低価格を設定しましたが、来年度は経済状況等から変更は行いません。しかし、北海道の最低賃金の改正案が近く提示されることから、シルバー事業との違いについて周知が必要となります。

生涯現役社会の実現へ取り組む

シルバー人材センターへの支援を!

函館市への
支援要望

現在、六十五歳を迎えた団塊の世代が労働市場から引退過程にあり、加えて少子化が進展する中、シルバー人材センターは、地域社会に密着した就業機会を確保提供し、高齢者の生きがいの充実など社会の活性化に貢献しております。

このため、全シ協では平成二十六年(2014年)度定時総会において、国をはじめ地方自治体に対してシルバー事業への支援について全国統一で要請活動を行うよう決議をいたしました。

これを受けて当センターでは、去る八月十二日(火)、渡部理事長、中田副理事長が、函館市役所を訪問して、片岡格(いんぎょ) 函館市副市長へ要請を行いました。

平成二十二年(2010年)度から二年間、行政刷新会議での事業仕分けによって大幅に国庫補助金が削減され、今年度若干の増額はあったものの、厳しい運営を強いられていることから、二十七年(2015年)度補助金と、公共事業の発注については二十六年(2014年)度以上の確保を渡部理事長から要請いたしました。

片岡副市長からは、高齢化社会におけるシルバー人材センターの重要性は理解しており、補助金の確保及び公共事業の発注について出来る限り努力していきたいとの回答をいただきました。



片岡副市長へ要望する渡部理事長と中田副理事長

賛助会員の皆様 ありがとうございます

賛助会員の皆様には、シルバー人材センター事業に深いご理解を賜り心からお礼申し上げます。

今後とも、シルバー事業の発展のため、種々ご指導、ご協力をお願いいたします。

平成26年9月10日現在 (敬称略・順不同)

団 体 名	団 体 名	団 体 名
三 浦 商 会	函 館 山 口 ロ ー プ ウ ェ イ 株	東 興 ア イ テ ッ ク 株
(株) 道 水	南 北 海 道 ヤ ク ル ト 販 売 株	株 函 館 国 際 ホ テ ル
(株)北海道銀行函館駅前支店	(株) エ ス イ ー シ ー	弘南観光開発(株)函館営業所
(株) 松 本 組	(株) ケ ー エ ス 北 の 星 観 光 バ ス	道 南 石 油 株
(株) 函 館 丸 井 今 井	(有) 三 和 印 刷	株 布 目
江差信用金庫函館支店	北 海 道 旅 客 鉄 道 株	イ シ オ 食 品 株
(株) 高 木 組	小 野 自 動 車 工 業 株	株 日 本 一 金 物 店
(有) 新 谷 商 会	(有) 道 活 印 刷	株 ヤ マ カ 下 河 原 商 店
(株) 藤 山 製 材 所	(株) ホ テ ル 函 館 ロ イ ヤ ル	株 近 藤 商 会
(株) は こ せ き	(社) 函 館 市 社 会 福 祉 協 議 会	函 館 環 境 衛 生 株
(有) 湯 ノ 浜	(有) ニ ッ コ ー 事 務 機	(有) 吉 田 林 業
(一社)函館市母子寡婦福祉会	函 館 清 掃 事 業 協 同 組 合	株 五 島 軒
野口観光マネジメント(株) 湯元 啄木亭	五 稜 郭 タ ワ ー 株	辻 商 事 株
(株) 長 門 出 版 社	函 館 空 港 ビ ル デ ン グ 株	函 館 市 役 所 職 員 労 働 組 合
テ ス コ (株) 函 館 支 店	(一社)函館国際観光コンベンション協会	連 合 北 海 道 函 館 地 区 連 合 会
(株) ド ー コ ン	ホ ン ダ カ ー ズ 南 北 海 道 株	新 規 加 入
(株) 綜 合 事 務 機	(株) 不 二 屋 本 店	(株) サ ン テ ッ ク ス
K A あ き も と	山 一 食 品 株	市 立 函 館 病 院 労 働 組 合
黒 島 綜 合 事 務 所	建 物 検 査 事 務 所	及 明 ビ ル 管 理 株

平成二十六年 安全就業推進大会

七月二十四日に安全就業推進大会が函館市芸術ホールを会場に、会員百六十六名が参加し、開催されました。

開会宣言を、

中田俊一安全・
適正就業委員長
が行い「昨年度
多かつた交通事
故に対し、更なる注意を払い事故
撲滅に取り組みましょう」と呼び



開会宣言



理事長あいさつ

掛け、幕を開け
ました。

次に渡部正一

郎理事長より
「安全はすべて
に優先すること
を基本に、慣れや加齢による体力
や注意力の低下を自覚し健康維持
に努めると
共に慎重な
就業をお願い
したい」と
の挨拶が
ありました。
続いて、
安全標語入



受賞する野尻勉会員

選者の表彰が行われ、最優秀作品
一点、優秀作品四点が選ばれ、理
事長より表彰状と記念品が授与さ
れました。

《会員事例発表》

『急がば回れ』

飯村敏彦 会員



シルバーに入
会以来、剪定業
務に従事し五年
目を迎えました。
最初の二年間

は松の剪定を専

門とする先輩の手元作業をする傍
ら庭師試験の通信教育を受け半年
間頑張りましたが、なかなか覚え
きれないため、先輩の鋏を見なが
ら実践し、三年目でようやく独り
立ちすることができ、今では年間
百本余りの松を剪定し、お客様に
喜ばれ充実感を味わっています。
切った樹木は修復不可能なため、
就業前に現状を把握し、目的や要
望を確認すると共に剪定期や病
害関係を説明、慎重に鋏を入れ樹
形を整え、お客様が納得できる仕

事を心掛けています。

事故防止には、予知判断が大切
であり、危険が何処に潜んでいる
か常に注意し、使用する道具の点
検整備と保安帽や安全帯装備のほ
か、危険な姿勢や脚立の固定など
基本を忠実に守り「急がば回れ」
を心にして、安全第一に努めてお
ります。

《講演》

『高齢者交通事故防止』

北海道函館方面函館西警察署
交通課長 宿村 浩司様



昨年度は交通
事故が多かつた
ことから、「高
齢者交通事故防
止」と題して、
交通事故の現況
と特徴について、
お話をいただき
ました。

人身事故の約三分の一が『うつ
かり・ぼんやり』が原因の追突事
故で、交差点付近での発生が多く、
前をきちんと見ていれば起きない
事故だった。

六十五歳以上が加害者となる事
故も多く、加齢による身体機能の
低下によって運転操作が遅れるこ

とが原因となっており、歩行者も

存在を知らせるため、夜間に外出
する時は、明るい色の服や反射材
を身に付けることが必
要です。

ハンドル
を握つたら
常に緊張感
をもった運
転を心がけ
ましょう。



《アトラクション》

『健康体操』

ヨガインストラクター 佐藤有希様



仕事の疲れ
や身体機能の
向上に効果的
な「健康体操」
を学び、出席
者の疲れを癒
しました。

最後に、安全・適正就業委員の
紹介を行い、安全標語の入選作品
を参加者全員で唱和して無事故を
誓い合い、斉藤正良安全・適正就
業副委員長による閉会宣言で大会
は終わりました。

安全・適正就業委員会コーナー



入選された皆さん
おめでとうございます!!

平成26年度
安全標語入選作品

最優秀賞

「安全はルール厳守と思いやり

地域に貢献 明るいシルバー」野尻 勉 会員

優秀賞

「慣れた作業に落とし穴 手順守って 安全作業」秋山 清 会員

「心はまだまだ若くても 体は年を重ねてる

初心にかえて安全作業」山下トミエ 会員

「安全は 自分で正す心から」

阿久津貞夫 会員

「安全は普段の自分の態度から

今日も無事故でがんばろう」佐藤 隆 会員



安全巡回パトロール

七月二日から八月六日に実施し、機械除草(四件) 清掃(二件) 公園管理(一件) 剪定・除草(二件) 発泡溶解処理(二件) の計九カ所を事前予告なしで巡回しました。

安全巡回パトロール実施報告

九月十日現在で、傷害事故六件、賠償事故四件、その他の事故六件が発生し、昨年同期と比べ一件減少しています。

事故発生状況

八月二十七日に開催され、事故発生状況と安全巡回パトロールの実施報告が行われました。

第三回委員会報告

六月四日に開催され、平成二十六年安全標語の選定と安全就業推進大会について協議し承認されました。

第二回委員会報告



梁川公園集合



函館高校集合

夏の清掃奉仕活動 2年ぶりに実施!

昨年は雨のため中止となった夏の清掃奉仕活動ですが、今年は4コース146名の参加で実施しました。



五稜郭公園裏集合



図書館前集合



会員厚生部会コーナー



今年度の旅行会は、十月六日・七日、青森県の馬門温泉に決まりました。昨年まで、旅行会には見学場所を多くして道中を楽しむよう、会員厚生部会幹事会一同頭をひねってききましたが、今回はおいしいご飯を食べ、温泉そのものを楽しみ、日頃の疲れをゆつくり癒すことに重きをおいたプランを考えました。そのため出発時間も遅めにし、帰りの時間を

を早めに設定しました。見学場所を絞った分、仲間とのゆつたりした会話を楽しんでいただきたいと思います。馬門温泉はその昔、源義経も入浴したという言い伝えが残るほど歴史のある温泉地です。ゆつくりと歴史を感じてきたいと思えます。一日目は青森駅で下車し各自持参したお弁当を食べながら、ねぶたの家ワ・ラッセとAファクトリーを見学しておみやげを購入したあとホテルの送迎バスに乗って、まかど観光ホテルへ向かいます。温泉につかってゆつくりしたあとは、お楽しみのおいしい食事とお酒、余興で盛り上がりましょう。

二日目はゆつくりとホテルを出発し、新青森駅へ向けて出発します。到着後は列車に乗るまでの時間を駅地下のお土産コーナーを見つめて過ごし、函館へと向かいます。年々参加者が減ってきている旅行会ですが、今後ともいろいろな趣向を凝らしていきたいと思っております。



よろしくお願いいたします。



会員の集いのご案内

会員の集いは、お昼に温泉に入り、夏の間の疲れを癒やしていただくために、毎年十一月の夫婦の日前後に開催しております。

ゲームあり、カラオケあり、喜寿のお祝いありで楽しい時間になりたいと思っております。

雪が積もって本格的な冬になる前のひととき、温泉に入ってお弁当を食べながら夏の間の疲れを癒やしませんか？皆さん誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

○日時 十一月二十一日(金)

午前十一時三十分～

(受付 十時三十分～)

○会場 湯の浜ホテル

○会費 二、五〇〇円(お弁当・飲み物付)

謹んでお悔やみ

申し上げます



吉田 健悦さん(六七歳) 4地区4班 8月14日
青木 信二さん(八三歳) 12地区8班 8月19日



昨年の会員の集い・喜寿の方々

総合福祉センターまつり



「第二十回函館市総合福祉センターまつり」が八月十七日(日)十時から同センターを会場として開催されました。今年は天候にも恵まれ、千九百名余りの人が訪れました。

当シルバー人材センターは、名物イベントコーナーを設け、事務所前の「野菜即売コーナー」では、会員が真心を込め、時間を惜しみなく費やし、収穫した自慢のジャガイモ・ミョウガ・玉葱・南瓜・ピーマンなど数多くの品々を揃えた野菜類や、毎年人



気の高い塩蔵ワラビのほか、丹精をこめ作り上げた観葉植物を販売しました。販売開始と

同時に多くのお客様が詰めかけ、さまざまな品を買い求めていました。会場は和やかな雰囲気につつまれ、陳列した野菜類は約二十分で完売するほどの盛況ぶりでした。毎年、販売していた草大福・ベコ餅・赤飯・炊き込みご飯は、今年は都合により販売いたしませんでした。



また、事務所内では、「相談コーナー」を設け、高齢者の求職相談や市民からのシルバー人材センターの事業に関する照会への対応や、「手作り実演コーナー」も設け、



マグネットの台座にビーズなどのデコレーションをした装飾品の作り方を紹介し、多

くのお子さんが挑戦して自作の完成品に喜びと感動で目を細めていました。

そのほか、第二会議室



では、「展示・即売コーナー」を設け、会員力作の絵画・書・写真パネル・切手貼り絵・寄せ木細工・和裁など会員の技術が凝縮した作品を展示し、会場を訪れた方々は一つ一つ丹念に作製された作品の前に足を止め、見入っていました。



また、手作りの小物・七宝焼きブローチ・ペダントなど各種手工芸品も併せて即売しました。

今年は、好天に恵まれたこともあり、大勢ご来場いただいたお客様や、惜しみなく積極的にご協力くださいました会員の皆様に心から感謝をいたします。



十月はシルバー人材センターの普及啓発月間です!

十月第三土曜日はシルバーの日です。それに伴い十月はシルバー人材センターの普及啓発月間となっており、当センターでも例年同様、様々な行事を予定しております。

- 高齢者雇用就業パネル展
 - ・ 期間 十月十四日(火)～十七日(金)
 - ・ 会場 市役所一階市民ホール
 - ・ 内容 シルバー人材センター紹介パネル、会員就業風景パネル、会員の手作り作品、文化・教養講座受講生作品展等
 - 第二回清掃奉仕活動
 - ・ 日時 十月十八日(土)
 - ・ 午前八時三十分
 - 市内五カ所実施
 - 街頭啓発活動
 - ・ 日時 十月十八日(土)午前十時
 - 市内三カ所実施
 - 地区懇談会
 - ・ 十月に市内四方所で開催
- ※地区懇談会は会員と事務局の意見交換の場です。お誘い合わせのうえご出席願います。

企画提案方式事業

「はこシル・エコロジー推進事業」活動報告

夏休みものづくり体験

八月五日に函館市総合福祉センターで夏休みものづくり体験を開催しました。

参加者二十名が山本勝太郎講師の指導のもと、不用となったペットボトルとトイレットペーパーの芯を使った空気砲と牛乳パックでびっくり箱を作りました。

参加した小学生の皆さんは、ものさしやカッターを使い夢中で作っていました。

今回は、冬休みに実施予定です。市内の小学生が対象となりますので、たくさんの方の参加をお待ちしております。



「ペットボトルで空気砲を作ろう&牛乳パックでびっくり箱を作ろう」



完成しました!!



はこシルエコロジー・たい肥土 たい腐葉

◇配分金支払日◇

- 九月分 十月二十日(月)
- 十月分 十一月二十日(木)
- 十一月分 十二月十九日(金)

シルバー人材センターの
会員に登録しませんか?

Ⅱ八会登録説明会
のご案内Ⅱ

シルバー人材センターでは、毎月一回、入会登録説明会を実施しております。センターでの仕事を希望する六十歳以上の函館市民の方ならどなたでも会員登録できますので、興味のある方は一度説明会にお越しください。

また、現在シルバー会員の皆さんも、お知り合いの方で興味のある方がおりましたらお誘いください。

日程は次のとおりです。

- 十月十五日(水)
- 十一月十九日(水)
- 十二月十七日(水)

会場／函館市総合福祉センター

一階集会所

時間／午後一時三十分〜

あとかぎ

◆今年には異常気象の中、各地で豪雨による土砂崩れで多くの尊い命を失いました。とりわけ広島市における災害では斜面から流れ出た土石流のスピードは時速四十キロ、瞬間的には百四十四キロ、堆積量は伊豆大島の三倍とも云われています。道内でも礼文島では五十年に一度の大雨で二名の方が亡くなりました。この大災害の要因は、行政が避難勧告を出す前に起きたことです。また、現段階で急に降る大雨を予想するのは難しいと云われております。函館市では大きな災害は発生していませんが、市内で土砂災害警戒区域は五十カ所指定されております。災害は大雨だけでなく地震、津波、台風等、いつ襲ってくるか分かりません。自分だったらどうやって身を守るのか普段から地域の人、家族と話し合っておく必要があるかと思えます。◆九月に入りめっきり日の暮れるのが早く、気温も一段と涼しさを増し、一刻一刻季節は冬に向かって進んでおります。季節の変わり目、体調を崩すことのないよう気を付けましょう。(相田)